



# 善正寺だより

〒:512-0902  
 三重県四日市市  
 小杉町1014  
 浄土真宗  
 本願寺派  
 善正寺  
 ☎:059-331-1670  
 fax:059-332-0733

## 掲示板法話

**穏やかな顔、優しい言葉、しなやかな心**

**生かされていることに気づき努めよう**



あけましておめでとうございませう。

厳冬の寒さの中に、初日の出に照ら

されて、み仏さまの光(智慧)とぬく

もり(お慈悲)を頂き、今年も精一杯

勤めつつ生かされて参りたいと思ひ

ます。前号で三百号を数えたこの寺報

を、どうぞ本年もご愛読下さいますよ

う、よろしくお願い申し上げます。

さて、「念仏者の生き方」とは具体

的にどんな生き方なのでしょう？

若きご門主さまが先般「私たちのちか

い(四力条)として次のようにお示

し下さいました。

### 私たちのちかい

一 自分の殻に閉じこもることなく  
 種やかな顔と優しい言葉を大切にしま

す。

微笑み語りかける仏さまのように。

一 むさぼり、いかり、おろかさにな

されず、しなやかな心と振る舞いを心

掛けます。

心安らかな仏さまのように。

一 自分だけを大事にすることなく

人と喜びや悲しみを分かち合います。  
 慈悲に満ちみちた仏さまのように。

一 生かされていることに気づき

日々に精一杯つとめます。

人びとの救いに尽くす仏さまのように。

一つ目は、「和顔愛語・先意承問」

(穏やかな顔でやさしい言葉をかけ、

相手の心を先んじて知り、よく受け容

れて教え導く)という仏説無量寿經

に出てくる言葉をやさしくお示しく

下さったものです。スマホや携帯の普

及で直接のコミュニケーションを煩

わしいという皆さん、相手の心を汲み

取り、穏やかな声掛けをしたいですな

第二は、貪欲(むさぼり)、瞋恚(い

かり)、愚痴(おろかさ)という三毒

の煩惱を慎もうという誓いであり、完

全には難しいとしてもわがままな振

る舞いを「恥ずかしいことよ」と反省

する、柔らかな生き方に努めたいとい

うことです。

第三は、自己中心主義を見直し、喜

びも悲しみも分かち合う人間関係に

脱皮しよう、ということでしょう。

第四は、独りで生きているのではな

## ☆行事ご案内☆

### ◇元旦会&御正忌お朝事

※元旦会(がんたんえ): 1月1日朝9時 正信偈、法話

新年のスタートは家族揃ってお寺参りから!

※お朝事: 1月13日14日15日16日の朝7時

連日4日間の真宗門徒のプチ修行、正信偈、住職法話、茶話会

◇除夜の鐘12月31日夜11時45分より誰でも撞けます  
 全員になんまんだぶ煎餅進呈、元旦会は子供にお菓子進呈

◇絵手紙教室1月8日(火)午前10時(39回目)

何時からでも入会OK、初心者大歓迎、小杉郵便局にも展示

◇キッズサンガ1月5日(土)午後4時

夕方5時の鐘つきは年中無休、除夜の鐘、元旦会もどうぞ!

◇一縁会テレホン法話 Tel 059-354-1454

三重組5か寺の住職、坊守、若院が週替わりで3分法話

◇善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧可。毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」大好評お寺の日常生活をホットに公開。開設10年5カ月で28万人2千以上の訪問者。お悩み相談も大歓迎!即返信します。創刊第301号で新たな気持ちで再出発。全国から激励の言葉に感謝

◇新納骨堂: 後継者の無い方、お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事場所でお困りの方: 本堂使用可。寺にご相談下さい

く、縁起により互いに様々な恵みのお蔭で生かされていることに思いを致して、仏恩報謝の日暮らしに努めよう、という思ひ召しです。

お聴聞させて頂けば、「なるほどそうだな」と共感頂ける「誓い」ですが、

①初事と聞く  
 ②我一人のためと聞く。  
 ③今生最後と聞く。

これが大切ですが、生死無常の世です。これが何より重く身に迫ります。どうか、人間として「生まれ甲斐のある人生」を聞き開いて参りましょう。

## ☆写真アラカルト ☆



お内仏報恩講 総勢40人程が賑やかに参り



ぜんざいとお弁当の昼食 元気な鐘撞きの子供達

### 坊守スケッチ

## 「そだねー」は仏様の心



2018年度の新語・流行語大賞に「そだねー」が選ばれました。ピョンチャンオリンピックのカーリング女子で銅メダルを獲得した女子選手達の間で使われた言葉。お互いを認め合いながら試合に臨むチームワークが、良い結果を導いたのでしょうか。

これはスポーツ界のみならず、全ての人間関係についても同様のことが言えるのではないのでしょうか？

まずは「そだねー」と相手は無条件で受け入れることで、相手は心を開いてくれます。それに反して「そやけど」と、頭ごなしに相手を否定すると、相手は瞬間に心を閉ざしてしまいます。「うん、うん」と相手をありのまま認めてあげることが必要です。そうすると相手は安心して、自分で解決法を見つけて不思議な力を発揮します。

最初に自分の意見を言うよりも、相手の話真剣に耳を傾けて「そだねー」と相槌を打つことから始めて下さい。そういう人の周りには沢山の人が集まってくる。心の器の大きな人は、どんな価値観の人も受け入れてくれます。少々オーバーな表現ですが、究極の器の大きな存在が「仏様」です。「お前はお前のままでよい。他人と比較して卑下することも威張ることも無い。自らの信じる道を進むがよい」

と背中を押して下さるような気がしません。仏法を聴聞する姿勢も、自らの浅はかな計らいや、頭で判断して聞くのではなく、「そだねー」と素直な心で受け取ることが大切ではないでしょうか？

今やネット社会で顔の見えない相手を平気で中傷して怒りをぶつけます。「そだねー」が新語・流行語大賞に選ばれたのを機縁にして、お互いを認め合い寄り添う姿勢から、温かい人間関係を築いていきたいと思えます。

### カンパありがとう！

盛野佳子様、松岡康様、富田和代様、柴田美津代様、小口あき子様、他よりお志や切手等を頂戴しました。

### 寄稿

秋雨や支え合う在位三十年 釋妙水  
星を見て秋風吸うて露天風呂  
無人駅一羽の小鳥迎えけり  
一步退く衝く棒を溜め除夜の鐘  
冬試験済みし学生沸く電車 釋清風  
老銀杏光を浴びて散り往けり  
秋夕焼「ブツダの言葉」で子ら合掌  
寒き朝ママのポッケに小さき手が



式章で孫お参り

### ☆若院夫婦の「育自な日記49

先月、私は小1長男のスクールサポーターに登録しました。スクールサポーター・略して「スクサポ」とは、保護者や地域住民を対象として、今までの経験や特技を子供達の学習支援や環境整備支援などに活用することで、学校教育活動の充実・改善を図ることを目的としています。

私のスクサポデビューは、神社でのドングリ拾いの付き添いでした。当日はお天気に恵まれ、校庭に集合した子どもたちは校外学習が嬉しいのかニコニコ顔。私は男の子達とおしゃべりしながら列の最後尾を歩きました。

神社に到着すると、子供達は班に分かれて行動開始。子供達が奥の暗い茂みに入っていくかのように見張るのが私の役目。でもいつのまにか子供達に囲まれ「こんなの拾ったよ」とか、「こっちに大きいのがあるよ」と一緒に楽しみました。長男は恥ずかしいのか、全然私に近寄らず変な感じでした。

次のお手伝いは、春から育てたサツマイモで鬼饅頭を作る時でした。サツマイモを小さく包丁で切る作業があり、豪快に切る子、慎重に切る子、それぞれの性格が表れて面白かったです。蒸かしたての美味しかったこと！また自宅でも作ってみたいと思いました。一年生はとにかく元気いっぱい、とても人懐っこい子供が多かったように思います。授業参観では分からないような子供達の生の姿に触れ、少

してもお役に立つように、今後も続けていきたいと思えます。(若坊守)

### 平成31年度・善正寺主な行事案内

- ☆お朝事 1月13・14・15・16日の4日間、朝7時より本堂で正信偈
- ☆春季永代経 (3月16日・17日) 両日共午後、奈良吉野、稲葉芳道先生
- ☆善正寺門徒總會 5月19日午前
- ☆玉蘭盆会法要 8月15日朝8時半
- ☆秋季永代経 (8月17日・18日) 両日共午後、尼崎市 足利孝之先生
- ☆小杉町仏教会追悼法要 9月22日 (日) 午前10時・午後1時・相愛大 学教授・大阪池田 釈徹宗先生 (初)
- ☆報恩講 11月2日 (土) 午前と夜 3日 (日) 午前のみ。但し2日11時よりお非時接待あり。(講師) 京都綾部市るんびに園理事長・藤大慶先生
- ☆秋勸進 11月23日午前8時
- ☆お内仏報恩講 12月7日 (土) 午前 ※他にも原則として毎月第3日曜日の夜7時半より門信徒会があります。

### ☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」三〇一号をお届けします。◇平成最後の新年を皆さまどんな思いでお迎えでしょうか？◇寂しくもあり、身の引き締まる思いですね。◇冒頭の「ちかい」四か条は、実に懇切で優しいお導きです。日々大切に生きる道標ではないでしょうか。◇「生き甲斐」と共に、真の「生まれ甲斐」に眼を開かれる道を共々手を取り合い歩みたいと願っています。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。合掌。

明けましておめでとうございます。平成もあと4カ月、あまた  
にとって平成はどんな時代でしたか？私にとっては、子供の進学  
親の介護、息子達の結婚と孫の誕生、自身の高齢者仲  
間入りと、無我夢中の30年でした。社会に注目すれば携  
帯電話が普及しスマホ全盛時代になりました。顔も知  
らない相手と交信し、買い物も支払いもネット決済、インタイ  
ネット万能で分らないことはスマホで検索すれば即座  
に教えてくれます。至極便利ですが果たしてそれで人は  
幸せになれるでしょうか？即走に大手通信会社の通信  
障害が起こり半日間使えなくなりました。利用者は大パ  
ニック、公衆電話も見当らず途方にくれました。スマホ  
依存の現代人の弱点を露呈しました。また平成は家族  
の形も多様化しました。核家族から少子化や未婚化が進  
み、ひとり親家庭、独居老人が増えました。無縁を好み孤  
立化が進行しています。唯一ペットが孤独の癒しとなってい  
ます。そんな中で介護を必要とする人は増大して施設は  
慢性的な介護士不足。人生百年の長寿時代を如何に  
生き抜くかが、新たな課題になりました。NHKの人気  
アイドル・千石ちゃんから「ボラ」と生きてんじゃねえよ」とお  
叱りを受けないものに、どんな時代を迎えようとも、仏法  
を心の拠り所として日々精進いたしました。この第  
301号は再スタートの初めに返り、新たな気持ちでお寺からの新鮮な情  
報をお届けします。本年も皆様ののご協力、ご愛読を  
よろしくお願い申し上げます。

合掌

平成三十一年一月 善正寺坊守 拜